

稲門フィラテリー

第 74 号

2019 年 12 月 1 日発行

稲門フィラテリー第 20 回総会報告

稲田 比島志

1 週間前の、台風 19 号による記録的な豪雨とは様変わりの、穏やかな秋の日差しが大隈老侯の銅像を照らしていた。構内は、例年通りの人の波で埋まっており、その中を行進するぬいぐるみのマスコットキャラクターに大勢の親子連れが群がっていた。

10 月 20 日（日）13 時から昨年と同じ 11 号館 503 号室で、21 名の会員が出席して、稲門フィラテリー第 20 回総会が開催された。

最初に、青柳会長から、切手収集が無くならように啓発活動を実践している井上武志会員に講演をお願いした。少しでもこの活動の力になりたいとの挨拶があった。

続いて議事に入り、

第 1 号議案（青柳会長説明）

2019 年度活動報告および 2020 年度活動計画
2019 年度の活動報告については、稲門フィラテリー創立 20 周年記念事業準備会の立ち



上げと荒木寛隆会員の実行委員長就任・榎澤祐一会員の講演・会報季刊 4 回発行・切手教室 9 回開催・常設展展示替 4 回があげられる。2020 年度活動計画については、創立 20 周年記念事業活動・井上武志会員の講演・及び会報・切手教室・常設展については、前年どおりを予定している。

第 2 号議案（石井会計幹事説明）

2019 年度会計報告および 2020 年度予算
会計報告については、特記事項はない。予算については、20 周年記念事業経費 10 万円を新たに計上した。

なお、年々繰越残高が減少しているが、どう対応するのかとの質問があり、会費の値上げは、難しいので 20 周年を区切りに会のあり方を見直したいとの返答があった。

第 3 号議案（住吉会計監査幹事説明）

2019 年度会計監査報告

会計監査を実施した結果、適正かつ妥当であると認定した。

以上の全議案が、熱心な討論を経て満場一致で承認された。

続いて報告事項に移り、

1. 稲門フィラテリー創立 20 周年記念切手展 関連報告（荒木実行委員長報告）

席上配布された「2020 稲門フィラテリー 20 周年記念切手展スケジュール（案）」の詳

細な説明が委員長からあった。

特に、20周年記念切手展は、2020年10月23日（金）～10月25日（日）10月第4週を第一希望に、会場獲得に努力している。

2. 稲門フィラテリーホームページの開設について（青柳会長報告）

3. 会員外の会報購読希望者について（青柳会長報告）

2・3については、総会出席者の賛同を得たので、幹事会で準備を整え、今後の幹事会報告、会報などで逐次報告する。

この件に関連し、会員の減少につき討議され、会員外の会報購読者を増やすことも、その減少を止める一方策であると、出席者の認識が一致した。また、各報告事項について活発な意見が出され、総会閉会時間が大幅に超過した。

暫時休憩の後、14時05分から、

井上武志会員による

「出前切手教室：草の根活動」

講演が始まった。

最初に、井上会員の所属する練馬稲門会は、会員数1千人の都内最大の稲門会であり、各分科会が各種イベントを積極的にやっているとの紹介があった。

次に、詳細な資料（出前切手教室：草の根活動）に基づいて、具体的な活動内容が紹介された。この様な活動を実施するきっかけは、



「出前切手教室：草の根活動」 講演井上武志会員

最近の子供達は、封筒・葉書に宛名も書けない、郵便局に行った事も無いという現状に危機感を持ったからであった。実際にやってみると、思っていた以上に、子供達は興味を持ってくれた。約一時間に渡り熱弁をふるわれた。その後、非常に参考になった等活発な質疑応答が行われた。小中学生に対する郵趣の普及についての具体的な活動が紹介され、当会の今後の活動の方向性も示している講演であった。

6時から、

高田牧舎で17名が参加して懇親会が開かれた。

村井幹事の新鮮な司会で懇親会はスタートした。まづ最初に、司会者の指名により、杉山会員が、今までの総会の中で一番議論が活発であったという挨拶のあと、昨年12月に亡くなられた渡辺勝正氏を偲んで全員で献杯した。早速、会場のあちらこちらで、旧交を温める輪が出来ていた。雰囲気盛り上がった所で、高田牧舎自慢の美味しい料理と酒を味わいつつ、歓談は続いた。

ふと、気がつくと外は薄暗くなり、秋の夜の気配が漂っていた。今日は、ワールドカップラグビーや日本シリーズの試合もあるので、17時30分に、磯野会員の音頭で三本締めで中締めを行った。その後も談笑が続いたが、最後に、青柳会長の締めの挨拶で、大盛況のうちに懇親会は、定刻に無事終了した。



懇親会 渡辺勝正氏に献杯

稲門フィラテリーのホームページ開設について

先般の稲門フィラテリー第20回総会において、出席者の皆様の賛同を頂きましたが、現在、当会のホームページを開設すべく準備を進めております。そこでは、会員の皆様からのご寄稿で構成された会報などを開示することにしてありますが、ご寄稿頂いております皆様の中で、ご自分の寄稿文の開示を希望されない方がおられましたら、その部分を開示いたしませんので、下記までその旨ご連絡頂きたくお願い申し上げます。

連絡先：〒236-0046

横浜市金沢区釜利谷西5-8-8

青柳 次男

電話：090-2429-0036

Mail ; kitako7@talcen.com または
tsuaho@green.ocn.ne.jp

なお、ホームページには、次の項目を収容する予定にしております。

- ① 常設切手展（新宿北郵便局での展示内容）
- ② 切手教室（毎月行っている講演会の内容）
- ③ 会報（稲門フィラテリー）

現在、ホームページに収容するデータ類の作成は完了しており、扉の作成にかかっております。全体の完成度は90%で、今年末または年明けには、皆様にご提供できるようにしたいと考えております。前述の通り未完成ではございますが、ホームページの扉は、次のようにする予定にしております。



早稲田大学・切手研究会と切手趣味卒業生の集い

稲門フィラテリー

トップページ
会報 稲門フィラテリー
切手教室
常設切手展示
活動予定・報告
リンク
問い合わせ

切手を集め、見つめ、調べ、考え、学び 切手から多くのことを知り 人生を豊かにしてきました。このサイトをご覧いただき、切手に少しでも興味を持っていただければ幸いです。

会報 稲門フィラテリー

季刊誌として会員などの執筆した切手に関する記事、日々の生活の様子などを掲載し発行しています。

指定号 行をクリックでバックナンバーPDF表示




会報「稲門フィラテリー」バックナンバー

2000年～2010年 1号から37号 目次 2010年～2019年 38号から71号 目次

文字をクリックでレジメ PDF が表示されます。

151 回 2019年6月1日 日本記念切手に見る元号(年号)表記の変遷 野口 喜義氏
 150 回 2019年4月6日 モーツァルトの死をめぐって 加藤 健一氏
 149 回 2019年3月2日 下総関の郵便印 浅木 福夫氏
 148 回 2019年2月2日 バクオウ便 水谷 勇氏
 147 回 2018年11月10日 郵便番号50周年 諸田 志郎会員
 146 回 2018年10月6日 昭和切手(新昭和切手) 宮崎 益治会員
 145 回 2018年9月1日 ドイツ海外局・植民地 加藤 久光氏
 144 回 2018年8月4日 夏休み 宮崎 益治会員
 143 回 2018年8月4日 ツェペリン・カバー 立川 賢一氏
 142 回 2018年6月6日 スロベニアのチェーンブレイカー切手収集の楽しみ 横沢 祐一会員
 141 回 2018年4月7日 アメリカ大統領切手 山田 幸信氏
 140 回 2018年3月3日 歴史秘話 南方占領地の切手と郵便 土屋 理義氏
 139 回 2018年2月3日 テーマ収集の楽しみ ～ベルサイユのばら～ 内山 雄二氏

72号 2019年6月1日発行
 20周年記念切手展への出品のお願い
 スコット この60年
 常設展「春です切手で春を愛でました」
 スウェーデン切手から考える 切手による比較文化笑論
 古い葉書でひまつぶし
 「稲門フィラテリーを検索」

71号 2019年3月1日発行
 リトアニア郵便史 第2回(1943～2018年)
 甲斐さん追悼の辞
 平成の切手30年間を目で考える
 常設展「昭和～平成50年の年賀郵便切手」

70号 2018年12月1日発行

トップ・切手教室

切手教室
 切手収集への関心を広めるとともに、切手の知識を深める目的とし、日本郵便株式会社新宿北郵便局の協力をいただきます。





1498回 2019年2月2日 バクオウ便 水谷 勇氏
 1499回 2019年2月2日 浅木 福夫氏 郵便番号50周年 諸田 志郎会員
 1500回 2019年2月2日 水谷 勇氏

常設切手展示

日本郵便株式会社新宿北郵便局の展示コーナーに3ヶ月ごとに切手を中心に郵便関連商品の展示をしています。
 展示は利用者が見やすいように切手などは拡大しA2(枠内6枚)に展示しています。 [新設北郵便局地図](#)

常設切手展示内容一覧

及び彩色文字行をクリックで展示内容をPDFで表示します

第47回 2019.6～2019.9 アニメが描かれた絵入切手 第3回








138 回 2017年2月4日 パソコンを利用したリーフづくり 吉柳次男会員
 137 回 2017年10月7日 郵便切手とベニーブラック 安藤裕氏
 136 回 2017年9月2日 南極地域観測 横垣廣政氏
 135 回 2017年8月5日 スロベニア歴史 人見敦氏

当ホームページに関するご意見、ご要望がございましたら、上記までご連絡頂きたくお願い申し上げます。

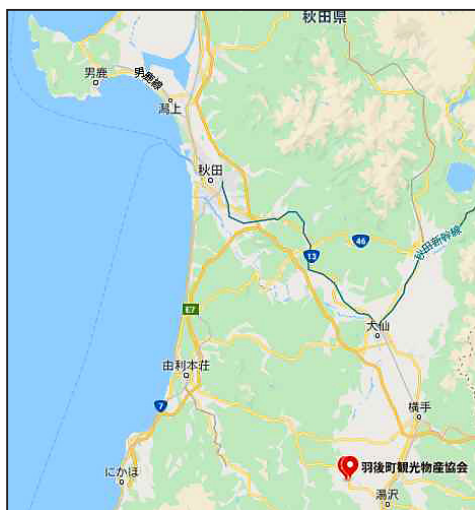
又又 神楽・まつり・そして神楽

池山 真彦

宮崎県椎葉村嶽之枝尾神楽を見た時の衝撃を何とか残そうと書き連ねたのだが、運悪く稲門フィラテリーの鬼編集長の目に止まり、会員皆様のご迷惑を顧みることなく又又紙面を汚すことをお許し願いたい。

優美 夢幻 秋田羽後町 西馬音内盆踊り

異常に照る日が少なく蒸し暑さだけがやたら身に染む齡、東北の地ではやませの到来も噂される気象現象の恐怖。長いバス旅の結末は如何にとの懸念も消え、秋田県羽後町に近づくにつれ、空の鈍色にはうすすらと日が差し始めた。



富山の風の盆、岐阜の郡上踊りと並び日本三大盆踊りと言われる西馬音内盆踊り（にしもない）ではあるが、どうも三つめはご当地意識が強すぎて一般的には馴染めないものだが、ひたすら豊年祈願や盆供養のために妖怪「一反もめん」を彷彿とさせる、眼だけが異様な黒い彦三頭巾、編み笠を深くかぶり着物の端切れを縫い合わせた端縫い衣装をつけた踊り子たちの、ゆるやかなすり足で進む優美な指先のしなり、篝火の幽玄な雰囲気、幻想的に鳴り響く囃子の音・・・等、夏の夜の期



待値は高まる。

名物「西馬音内蕎麦」で腹ごしらえの後、盆踊り会場へ向かう。途中、多くの出店で賑わうかがり火広場を抜け、着飾った人々や観光客の間をかき分けながら本部横に設えた所



西馬音内そば
海苔の風味豊かな手打ち麺

定の席でしばし開始の時を待つ。午後7時、この日の為に設えた檜上から寄席太鼓に続いて「ヤー

トーサー ヨイワナ セッチャ」の掛け声と囃子が賑やかに始まり、朴訥な地口（歌詞）に囃され踊りが始まる。

幕開けはあでやかな端縫い衣装や藍染め浴衣を着た子供たちの素朴な舞が続く。同行の親たちの舞姿を見様見真似でぎこちなく舞う姿は無性に可愛く懐かしく、7百年の伝統の技をしっかりと受け継ぐ地域の思いや情熱がひしひしと伝わり新たな歴史の始まりを予感させる。



午後9時、本町通りの篝火が一層の輝きを放ち、櫓の上で鳴り響くにぎやかな囃子と野趣に満ちた音頭の歌声が一気に艶めいてくるといよいよ本番、幻想的な世界を映し出される。300メートルに及ぶ路上の舞台を時計と反対方向の長い輪になって端縫い衣装に編み笠の女性や黒い彦三頭巾で顔を隠した踊手たちが切れ目なく静かに動き始める。秋田県音頭によく似た音頭は農民特有の楽天素朴なエロティズムを匂わせ、多才な歌詞で踊りをもりあげる。又甚句（がんけ）の歌詞、節回しには哀調が漂い現世の悲運を悼み来世の幸運を願う盆本来の様相を再現しているようだ。

隣の娘さ踊り教えだばふんどし礼にもらたさっそく持て来て嬢どさみせだば横面なぐられた（音頭の歌詞一例）

お金恋しやかがり火恋し

まして踊り子なお恋し

人ほどの囃子方が大小の太鼓、鼓、鉦、笛、三味線を手に延々と賑やかに奏し、又左右の柱には「五穀豊穰」「豊年満作」と書いた灯籠、腰には濃紺の幔幕を張って華やかな情緒を醸し出している。

何故か、あまりに勇壮華やかな「動」の囃子に対し、優雅で流れるような美しい「静」の踊りの組み合わせが実に対照的で不思議な西馬音内盆踊りの世界なのである。

代々引き継がれてきたあでやかな端縫いや藍染め衣装には故郷の想いを引き継いでいく女たちの夢が縫い上げられているようで見事な個性を発揮している。又亡者踊りいわれる



黒い覆面「ひこさ頭巾」をつけての踊りは怪しい雰囲気醸し出し今宵精霊を迎える盆踊りを幻想的な世界へ導く。

延々と続く流れ、しなやかな手振りゆったりした足運びを眺めていると、いつしか自分が輪の中に入り込み、時空を超越した異次元の世界への道を黙々と辿っているような不思議な感覚に陥る・・・。

踊り子と同じ目線で盆踊りを見たくなり観光客、地元の人たちの息使いを間地かに感じながらかき分け進むと、編笠を目深に被った粋な藍染めの浴衣に赤い「しごき」とよばれる可憐な帯を身に着けた女性に出会った。目前を通りすぎる踊りの流れをじっと追続ける後ろ姿、何を想い佇んでいるのか・・・。年齢不詳、襟足にのびるうなじが若い女性を艶やめかす。

お囃子、唄い手の音勢が勢いを増しリズムにスピード感が増してくるといよいよ終盤。優雅で流れるような踊りもリズムに合わせてにぎやかで野性的な踊りに加速していく。踊り子たちの歓声と熱気が徐々に櫓の下に集ま



編み笠の踊り子



彦三頭巾で顔を隠した踊り子





大歓声舞納め

りはじめる。23時、その高揚感が頂点に達し一瞬の静寂に包まれた時、長時間に亘る踊りの場は大歓声と共に一気に現実の世界に戻される・・・。

興奮冷めやらぬ火照った頬を早めの秋風が撫でていった。

秋田では県内三大盆踊りと言われる鹿角の毛馬内盆踊り、八郎潟の一日市盆踊りと個性的な盆踊りがほぼ同時期に行われる。機会があればと思っているのだが・・・・・・・・

神坐す山奥多摩 「武蔵御嶽神社」の 太々神楽

ふと書店で手にした浅田次郎の「神坐す山の物語」、奥多摩みたび山の自然と不思議が共生する神秘的な語りが妙に懐かしく、何かしら時空を超えた出会いがあるのでは・・・そんな気がして秋の夜長を楽しむことにした。

麓の滝本駅より平均勾配 22 度のケーブルカーで御岳山駅を降り立つ。御岳山は標高



929 メートル、古くから関東随一の修験道拠点としての権力者や一般庶民の信仰対象としてあがめられ山

上には武蔵御岳神社が建立されている。

本殿玉垣の奥に主祭神を守る眷属として大口真神が祀られ、神体はニホンオオとカミというのも甚だ興味をそそります。

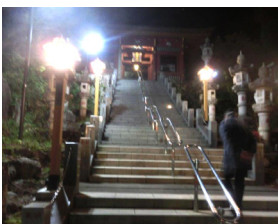
神社への途中には御師と呼ばれる人々の天空の集落があり、現在でも 20 数軒の宿坊が主として神社に参拝する御嶽講の集団を世話している。今夜の宿は次行程を考慮して一番高所にある門前商店街を抜けた先の西須崎坊蔵屋という 300 年の歴史を持つ古民家風宿坊である。季節感たっぷりの山の料理を味わっていると、主人がやってきて嬉しそうに神楽



武蔵御嶽神社

の話をしてくれ「私も後から行きます。」とのこと。

灯籠の明かりに導かれ 320 段の石段を息使い荒く登りきると朱塗りの拝殿の前に出た。振り返ると山の間から鮮やかに輝く東京の絶景が望まれた。神楽殿は 50 畳ほどの広間を持つ立派な舞台であり、6 月～11 月の間毎月 1



武蔵御嶽神社へ 320 段



月のみたと東京の夜景



足名椎（あしなずち）と奇稲田姫（くしなだひめ）

回東京都の無形民俗文化財である夜神楽が舞われる。その伝承は社家 31 戸の神職の世襲によって二百数十年受け継がれており日本神話を題材とした面神楽は 13 座、本日の舞台は「大蛇退治」であった。

午後 8 時、全員で礼拝の後太々神楽の説明があり、神妙に耳を傾け説明を聞き入り顔を上げると宮司と目が合う。何と民宿の主人だった。

翁面の演者が舞台の中央と四方に幣を捧げ舞台を祓い清める。奏者は御簾の内側から笛、太鼓を響かせる。続いて高天ヶ原から追放された素戔鳴尊が大蛇を退治する日本神話の神楽が舞われた。嘆き悲しむ奇稲田姫がおしえの通り酒を樽に仕込む、父親足名椎がその不憫を嘆き一振りの剣を授け退場すると大蛇の



大蛇と素戔鳴尊（すさのおのみこと）

登場。姫を飲み込もうとする大蛇の激しい舞、逃げ惑う姫、しかし目の前の酒を飲み干し酔いつぶれ、素戔鳴尊がツツカノ剣で大蛇を退治、尾から出た剣は皇位継承の「天叢雲剣」。現在は熱田神宮のご神体であります。

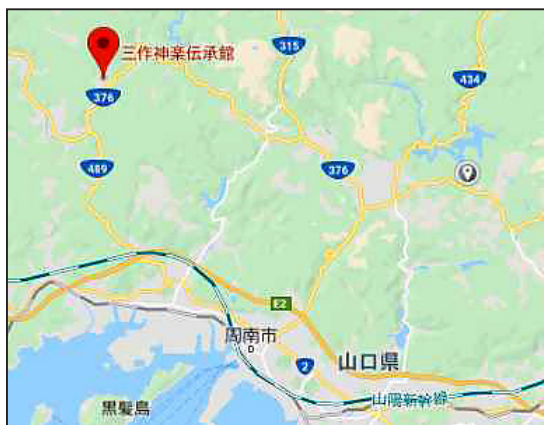
醜女面を着け杓子と鈴を持った山の神、長寿をもたらず働き者の磐長姫が登場し餅播きが始まるとどこから出てきたのか舞台の前方に子供たちがわっと集まり大騒ぎとなる。無病息災の御利益のあるありがたい餅だが子供たちの迫力に逆らうわけにいかず惨敗。この時間、こんな場所、子供たちは神域に住まう次代の舞人、奏者たち、大切にしなければ・・・。

神楽殿から再び拝殿の前に戻ると眼下関東、東京の夜景が一層鮮やかに光を輝き放っていた。しかも天空には十六夜の月が煌々と・・・身近なパワースポットの霊気を全身に浴びて、これぞ「月のおんたけ」を満喫した。（日本三御岳、雪の木曽御嶽神社、月の武州御岳神社、花の甲州金桜神社）

山口周南の山里に響き渡る 6 年に一度の三作神楽（みつくりかぐら）

山口宇部空港でレンタカーを借り受け秋深まる中国路を東に奔る。途中道の駅で地元名物のたこ飯を購入、目指すは周南の山里。6 年に一度の滅多に得られないチャンスとやたらに気が焦り、過行く景色は目に入らない。神楽は 9 時より休憩なしで既に始まっているはず・・・。

周南市の西北部の和田地区三作（林、原赤、

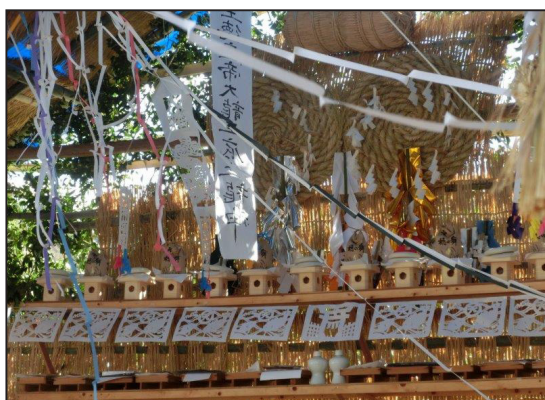




水田も清め

中村)の3自治会に伝承される卯年、酉年に奉納される式年祭で、言い伝えでは1300年前の大飢饉の際に苦難から逃れようと河内社に五穀豊穡、疫病退散を祈願したところ翌年からは再び平和が訪れ、そのお礼として3村落民総出で神楽を奉納するようになったと地元伝えられている。この神楽は神祭りの古風な形を残し又中世の華やかな芸能を取り入れ祭りの興奮を高めているとして、平成12年国の重要無形民俗文化財に指定されているのである。

神楽奉納は神殿掛け、祭礼準備、神殿清め、湯立神事、神迎え等手順を経て始まるが、5日ほど前から準備をする神殿掛けは氏子総出で二階ほどの高さに松、杉、竹の用材を古式に則りわら縄で結び、屋根はわらで葺き、神殿の正面だけは壁面全体を桝でおおい、そこに神座を設ける。四方の柱には神棚をつけ、天井には天蓋2個をかざり、周囲のしめ縄にも5色の切飾りをつけ八百万の神を祀る。正



神殿掛け



神明の舞

面の神座の最上部には腰かけ俵、その下に巻き藁で作った直径1メートルほどの蛇幟(へびぼし)というものが2個、その下に七社の幣、切りかざり、その下にお供えと、素朴な素材を使いながらも神秘的な且つ不思議な設えとなっている。又周辺にある刈り取りの終わった稲田の周囲にも注連飾りが巡らされ、一帯が神域の気配を濃厚に発していた。

神楽は23座のうち、10番目の柴鬼人の舞に進んでいた。ちはやという古来の衣装に唐草模様のはきもの、節分の鬼のような真っ赤な顔をした山の神の使いが、光を取り、大地を掘り、豊穡をもたらす舞を激しくやさしく舞っていた。

この三作神楽での特徴として、神楽面の舞よりも、直面の舞を中心に展開するのだがこれはプログラムの中で河内社、大番社、大元社、氏社など3集落7社が順番に同一の祝詞を奏し、神事としての神舞を奉納する古い神祭りの様式を残しているということからも窺



長刀の舞



三方荒神の舞の前舞

い知ることができる。

1時間に及ぶ「神明の舞」は面を着けた舞人を含め7名による神話の天岩戸を題材にした神楽でたっぷり楽しめる賑やかな舞であった。続く「長刀の舞」では白襷、白ハチマキそして唯一の採物薙刀を縦横に振り回し邪気を祓う。

餅播きなど舞台と見物人との賑やかな触れ合いに神楽の伝承にかける地域の情熱と心意気を感じながら、舞台は最大の山場、荒ぶる火の神火防の神・かまど神である「三方荒神の舞」に進む。



三方荒神の舞

三方荒神の詞には「煙立民のかまどをやすかれとまもりたまゆる稲倉のかみ 畏くも神代の法を受けつぎて身を逆しらに今ぞなしぬる」とあるが・・・？。見所は後半部分、目を凝らして舞台を眺める。

奏者の囃子に乗り3名の舞人、斎袴に5色の斎たすき、頭に赤または白のハチマキ、手には大振りの握り幣と錫杖の採物。採物を振り回しながら舞台を所狭しと激しく飛んだり跳ねたり舞う。続いて天井から垂れ下がる3枚の白布を手にとり更に激しく飛び回りながら1本の太い紐を組み上げていく。組みあがると2名の舞人が紐を固定し1人がするすると一気によじ登りアクロバティックに舞い続け、最後に足を絡ませ逆さまに中吊り状態のまま舞う。手に汗握る20分ほどの舞に観客の驚きと歓声、一瞬の静寂に安堵感が流れる。荒ぶる火の神の怒り、燃え盛る炎舞を連想させる素晴らしい舞台であった。

帰路、地元の中学校に一つの顕彰碑があった。和田は32歳の若さで早世した「炎のストッパー」広島カープ津田恒美氏の出身地だったのである。彼の燃え滾る投球には幼き日に見た三方荒神の激しさが宿っていたのかも知れない。夕日を浴びた秋の川添い道をのんびりゆったり今日の宿泊地徳山へ向かった。

追：記録によれば昭和63年演劇博物館創立60周年を記念して大隈講堂で「周防・三作神楽の夕べ」が催されたと記されていた。

15年に亘る神楽巡礼はまだ続きます。もう少し早くから歩いていれば、寅さんシリーズに匹敵したのでは・・・・・・。もう八十路に手の届く所まできてしまいました。これからは常時徘徊の噂がでても迷惑だから、それなりにやさしく丁寧にいきます。

西に行きましても東に行きましても土地土地のおあにいさん、おあねいさんはいつも優しく接してくれました。感謝、感謝です。

神楽でつながる人々の素朴な生活が続くことを願いながら・・・今日もどこかで。

あの町 この町

— 小川忠博写真展を機に —

野島 正顕

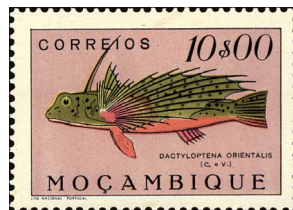
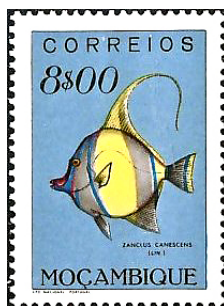
稲門フィラテリー会報の編集担当幹事を務める小川会員の兄上の小川忠博氏が、多摩センターにある多摩美術大学美術館で開催のエターナル・アフリカ展で写真を展示とのことで訪ねました。

エターナル・アフリカ展は「森と都市と革命」をテーマとしてアフリカ人画家の絵画を中心に、小川忠博氏の写真を一室に展示。作品はポルトガルの植民地だったギニアビサウとモザンビークが舞台で、1970年代、共和国として独立する直前のアフリカ人の闘争を撮影。植民地支配からの解放を目指して、鬱蒼としたジャングルの中で空爆にさらされ戦線に向かう戦士や家族供たちに迫った貴重な記録でした。



多摩美術大学美術館アフリカ展

早大卒業後4年目くらいとのことで、フィルム時代の重い機材を背負って危険なジャングルに入ってよく撮影したものと感銘をうけました。モザンビークは、私が切手収集を始めた戦後間もない中学生のころは美しい熱帯魚の切手を発行していて、百貨店の切手売り場のショウケースを彩るエキゾチックな国の印象。それから四半世紀後に、現地の民が



モザンビーク 熱帯魚 1951年発行

立ち上がり宗主国ポルトガルとの戦いによって独立を勝ち取った厳しい歴史があったことをあらためて認識しました。

多摩美術大学美術館がある多摩センター駅は初めてだったけど、改札から外に出て感心。

首都圏にこんな雰囲気の良い町があったとは！ 車が一切目に入らず、駅前からパルテノン通りなる大通りが小高いパルテノン広場まで伸びていて、信号も電柱も無い。土地の高低差を立体的に活用した町造り。広々とした人道が広がり緑の並木の向こうにホテル、スーパー、丸善などが揃っていて垢抜けたモダンな町並み。センターと称するだけあって、小田急、京王、多摩モノレールが入っている。



パルテノン大通り付近

私が住む戸塚から電車で1時間半。我が戸塚駅の西口も昭和の商店街を再開発して10年ほど前にバスターミナルやショッピングモールが出来た。駅前が多摩センターと同じように高低差があり立体的に整備されたけど、1F～3Fと、バス乗り場や駅からの通路が輻輳し陸橋はカニの足のように広がり今でも戸惑うことが多い。多摩センターの合理的な設計と比べて残念である。

現役時代に懇意だった業界紙の記者が近隣に住んでいるので喫茶店で久しぶりに懇親。ニュータウンといっても40年ほど前から開発が始まっているので老人の多い町のイメージを持っていたけど、意外に若い人が多いのでは？と訊いたら、近郊に学校が多いこと、サンリオピューロランドなる女の子に人気のハローキティちゃんのテーマパークがあるからだとか。もちろん老人は多いけど、坂の町なので外出を敬遠していると。私と同様80歳を過ぎたwけど今はもっぱらバス利用だそう。

近くに東京都埋蔵文化財センターなるものがあるので覗いてみた。ニュータウンの造成にともない発掘された縄文時代の土器類を展示。八ヶ岳山麓出土の国宝「縄文の



多摩ニュータウンのヴィーナス

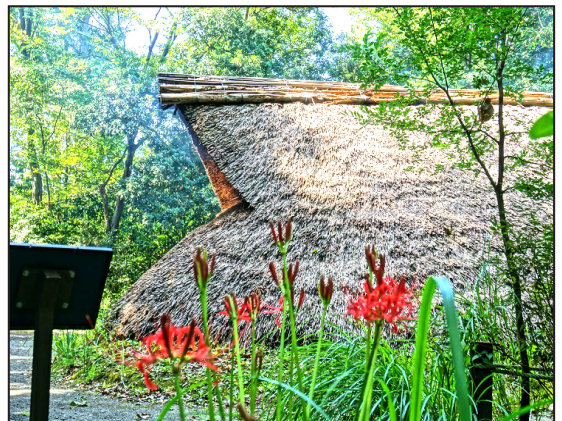
ビーナス」土偶に通じる「多摩ニュータウンのヴィーナス」や岡本太郎の「太陽の顔」に似た「丘陵人の肖像」土面が待っていた。隣接して「縄文の村」公園があり古代住居を3棟ほど復元し



丘陵人の肖像

ている。この辺でイノシシを追いかけていた縄文人を想いながら公園の雑木林をしばし散歩。

他日、小川忠博氏が八ヶ岳山麓にある平山郁夫シ



縄文の村の古代住居

ルクロード美術館で「土器だオブジェだ八ヶ岳」をタイトルに写真展を開催との案内が届いた。

場所は小海線の甲斐小泉駅前。八ヶ岳とか小海線と聞くと、若い頃に親しんだ高原なので懐かしく早速訪ねた。新宿から小海線が出る小淵沢まで特急スーパーあずさで2時間。小海線のワンマンカーに乗り換え、次の無人駅が甲斐小泉で意外に近い。美術館の二階が明るいラウンジになっていて、そこのカフェ「キャラバンサライ」が展示会場。京都の陶芸家のオブジェ風の作品を八ヶ岳山麓で撮って絵本にした原画や近隣で発掘された縄文遺物の写真を展示、陶芸家とのオープニングトークショーも開かれたそう。

小川忠博氏は縄文土器類の写真に関して



展示会場「キャラバンサライ」

は長年の実績を持つ第一人者であり著作や写真集を多数出版。そのひとつ「縄文美術館」について、評論家の立花隆氏が「ライティングが上手い。一点一点にいい表情が出ている。特に人間をモデルにした、ひとがた。土偶・岩偶がよい。・・・」と評している。

確かに縄文時代の土器や土偶類を見ると不思議な魅力がある。造形にしても装飾にしても特異である。日本列島で稲作が始まったところには消えているので、縄文人は人種がまるっきり違うようにも思えるけど、我々のDNAには縄文人の血もしっかり流れているという。

平山郁夫シルクロード美術館は平山郁夫の絵画の大作とシルクロード関連美術品の豊富なコレクションを展示。さすがに見応えがありました。

小海線は2時間に一本くらいなので時間



切手になった平山郁夫画「敦煌」

つぶしに付近を散歩。小泉郵便局があり入口に風景印の案内が出ていたので立ち寄り、平山画伯の絵ハガキに、値上げ第一号 63 円切手を添付押印してもらい、フィラテリックな話題にしようと孫たちに

送った。

風景印のデザインは「三分一湧水（さんぶいちゆうすい）」なるもので、局員に聞くと近くにあるという



ので覗いてみた。これは珍しい風景！ 雑木林の中に流れを受ける水槽が設けられていて、下流の村々に三等分して配水する設備。農村の水争いを解決するために武田信玄が築いたとの伝説があるそう。小泉の地名の通りここは水の湧き出る要所。農耕で生活をたてる民にとって水は生命線である。こんこんと湧き流れる水を等分に分けるために据え置かれた三角型の石柱はまさに豊饒のシンボル。

八ヶ岳の山麓一帯は縄文時代の遺物が豊富に出土するという。この山麓から現れた国宝土偶「縄文のビーナス」も、遙か古代に狩猟採集で生活をたてた民の豊饒祝祭のシンボルかと思いました。



縄文のビーナス
長野県茅野市出土



三分一湧水（さんぶいちゆうすい）

2019 年日本切手発行状況

本年は表 1 の様に消費税増税に伴う普通切手の発行、小型シートの 3 件発行増等がありながら、発行 51 件、種類数 548、購入必要金額 43,848 円と乱発、濫造が少し是正された。しかし、1 日 1 種の切手を発行しても追いつかない数のとんでもない発行状態が続いていることには変わらない(2018 年は 53 件発行、623 種発行、購入必要金額 49,016 円)。日本切手は 1 万種超え

世界に目を向けて見ても年間 200 種以上発行した国はフランスに 8 年程度見られる以外、それ以上発行した国を見つけれないようだ。わが国は他の国に見られない 500 種以上の切手の発行を 5 年も続けている。お蔭で我国は 2019 年に切手を 1 万種以上発行した最初の国になったようだ。(軍事、在外、占領地切手等を除外)

分野別、内容別発行状況

2019 年切手の発行目的別に整理するとそれぞれ表 2、図 1 のようになる。グリーティング切手、シリーズ切手は件数、種類、発行件数の順に割合が増えるのに対し、記念切手、毎

表 2 発行目的別切手の状況

発行目的	件		種		万枚	
グリーティング切手	15	29%	192	35%	53000	51%
シリーズ切手	15	29%	210	38%	35715	34%
寄付金付切手	2	4%	20	4%	2000	2%
記念切手	10	20%	79	14%	7300	7%
年賀切手	3	6%	6	1%	2704	3%
普通切手	2	4%	10	2%	0	0%
毎年発行	4	8%	31	6%	3600	3%
総 計	51	100%	548	100%	104319	100%

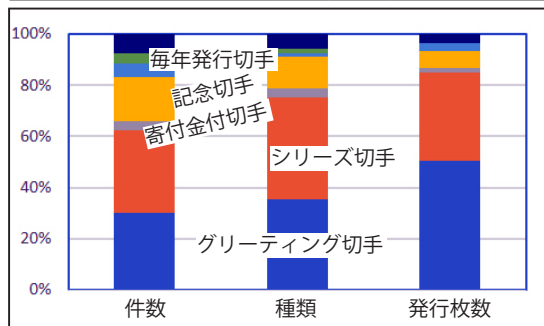


図 1 発行目的別切手の割合

表 1 2019 年発行切手一覧

	発行目的	通 称	種	万枚	切離
1	記念切手	日本フィンランド 外交 100	10	500	目打
2	記念切手	近代測量 150 年	10	500	目打
3	記念切手	ILO 創設 100 周年	10	500	目打
4	記念切手	ラグビーワールドカップ	10	600	目打
5	記念切手	日本芸術院創設 100	10	500	目打
6	記念切手	日本ハガリ外 外交 150	10	500	目打
7	記念切手	日本オーストラリア友好 150	10	700	目打
8	記念切手	G20 大阪サミット	5	500	目打
9	記念切手	天皇即位 30 年記念	2	1000	目打
10	記念切手	天皇即位記念	2	2000	目打
11	寄付金付切手	第 1 回東京リ・パラ	10	1000	目打
12	寄付金付切手	第 2 回東京リ・パラ	8	1000	目打
13	毎年発行	切手趣味週間	10	700	目打
14	毎年発行	第 74 回国体	10	500	目打
15	毎年発行	国際文通週間	6	1900	目打
16	毎年発行	国土緑化	5	500	目打
17	年賀切手	年賀令和 2 年用	4	2700	目打
18	年賀切手	年賀切手招き猫	2	2	目打
19	年賀切手	年賀特別	2	2	目打
20	普通切手	普通切手	6	0	目打
21	普通切手	慶弔用切手	4	0	目打
22	シリーズ切手	旅切手シリーズ 5 集	25	3015	シール
23	シリーズ切手	伝統色シリーズ 2 集	20	3500	シール
24	シリーズ切手	動物シリーズ 第 2 集	20	1900	シール
25	シリーズ切手	伝統文化シリーズ 2 集	20	3000	シール
26	シリーズ切手	森の贈り物シリーズ 3 集	20	3500	シール
27	シリーズ切手	楽器シリーズ 2 集	15	2500	シール
28	シリーズ切手	天体シリーズ 2 集	10	3000	シール
29	シリーズ切手	もてなし花シリーズ 12 集	10	4300	シール
30	シリーズ切手	天然記念物シリーズ 4 集	10	1000	シール
31	シリーズ切手	海の生き物シリーズ 3 集	10	2300	シール
32	シリーズ切手	世界遺産シリーズ 12 集	10	500	目打
33	シリーズ切手	ふみの日	10	1900	シール
34	シリーズ切手	日本夜景シリーズ 6 集	10	800	目打
35	シリーズ切手	伝統色シリーズ 3 集	10	1500	シール
36	シリーズ切手	絵本世界シリーズ 2 集	10	3000	シール
37	グリーティング切手	ぼすくまと仲間たち	23	3600	シール
38	グリーティング切手	リサとガスパール	20	3000	シール
39	グリーティング切手	スウィーツ	20	3000	シール
40	グリーティング切手	ミッフィー	20	4600	シール
41	グリーティング切手	秋のグリーティング切手	20	6000	シール
42	グリーティング切手	冬のグリーティング	20	3000	シール
43	グリーティング切手	星の王子さま	15	3000	シール
44	グリーティング切手	ライフ・花	12	3100	シール
45	グリーティング切手	春のグリーティング	10	3000	シール
46	グリーティング切手	夏のグリーティング	10	3000	シール
47	グリーティング切手	伝統色シリーズ 3 集	10	3000	シール
48	グリーティング切手	ハッピーグリーティング	6	3800	シール
49	グリーティング切手	シンプル	3	8000	シール
50	グリーティング切手	ハガメル小型シート	2	400	目打
51	グリーティング切手	グリー・シンプル 82 円	1	2500	シール

年発行切手と購入したいと感じる目打切手は件数、種類、発行枚数と割合が逆に少なくなり、もはや、切手発行がグリーティング切手、シリーズ切手のシール切手中心になされていることが判る。

デザイン意匠の変化

まず、年賀切手のデザインの対象が変わった。1953年の三春駒にはじまり、9年間を除く58年間続いた干支の郷土玩具のデザインを昨年で終わらせ、2019年の年賀切手はおもちゃ絵画家の川崎巨泉の描いた5000点の絵を収めて116冊からなる画帖から選ばれ、現存の郷土玩具でないものも切手になりそうである（大阪府立中之島図書館・人魚洞文庫）。また、寄付金付切手は玩具ではなく干支と縁起物を新たにデザインした切手になった。



三春駒
1953年



人魚洞文庫
の玩具



干支と縁起物の
デザイン

また、スポーツ関連切手のデザインが過去のものとは異なることが際立っている。オリンピック、ラグビーワールドカップ切手に競技場面が全く描かれてなく、エンブレム、マスコット等切手ばかりであり、前東京大会

の競技種目20種の切手と比べて、スポーツ切手としての魅力に欠けることを感じる。尤も、これはFIFAサッカー大会等の切手にも言えて、なぜか考えてしまう。



競技シーンが無いスポーツ大会切手



国体、フィンランド、オーストリア外交関係の周年切手、国体切手はともかく、外交、国際関係事項の切手にもデザインの変化がみられる。

外国製切手が半数を超え

印刷はオフセットが発行枚数の95%をしめて、発行枚数の55%が外国の印刷会社で印刷されていた。その中で、目打切手が外国で印刷される割合が増えて、目打切手の80%になってしまっていることに驚かされた。外国製切手はシール切手と思い込んでいたが、今後はこの割合の変化と、凸版印刷が目打切手を印刷する割合にも注意していきたい。



外国製切手 330 種の内の 3 種

Phil@poste(仏) カルトール社(仏) エンスケデ社(蘭)

新規発行と発行中止

2019年に今後の発行継続があるのか、また、なぜか発行が中断した切手が気になった。販売不振に悩む暑中見舞いハガキの販売促進策か、抽選の景品であり、窓口でも購入できる「かもめーる小型シート」の発行継続である。小型シートの発行継続より、郵便局員への販売促進ノルマ等の問題が生じたりしていると聞く「かもめーる葉書」自体の存続が問



景品と 147 円で販売された小型シート



景品と1000円で販売された特別年賀小型シート
題である。もう1件、「特別お年玉切手シート」が発行された。これも年賀葉書の景品（シリアル番号印字）と窓口販売の小型シートである。発行の発表が12月9日、ここで初めて抽選が2度あることが発表された。どれだけの人がこの発行を知りえたのだろうか。しかも、2度目の抽選は5月20日と記憶困難な設定、もっとも下6桁の当選番号は100万本に1本、普通年賀の1等景品30万円に該当、この発行の意味が理解しがたい。販売の1万枚も10月に郵便会社から「ご好評につき、通信販売の期間を延長するほか、一部の中央郵便局でも販売します。（2019年10月21日を2020年3月31日に延長）」という発表がされた。反対に、5年で発行をやめた切手が存在する。海外向け郵便に使用される差額用切手である。海外年賀用切手（差額用）でスタートし、海外グリーティング（差額用）として料額もデザインも統一されない切手であった。今後は海外郵便利用者の立場を考え

表3 料金改定時の切手発行の対応

増税、値上げの内容	葉書料金		封書料金	
	普通切手	特殊切手	普通切手	特殊切手
1989年4月1日に消費税3%実施	40 → 41		60 → 62	
旧料金切手最後の発行日	****	1988/10/14	****	3月24日
新料金切手初発行日	3月24日	7月14日	3月24日	4月1日
1994年1月24日郵便料金値上げ	41 → 50		62 → 80	
旧料金切手最後の発行日	****	1993/9/16	****	1993/12/10
新料金切手初発行日	1月13日	1月28日	1月13日	1月28日
2014年4月1日に消費税8%に	50 → 52		80 → 82	
旧料金切手最後の発行日	****	1月16日	****	1月16日
新料金切手初発行日	3月3日	4月3日	3月3日	4月1日
2017年6月1日葉書値上げ62円に	52 → 62			
旧料金切手最後の発行日	****	4月14日		
新料金切手初発行日	5月15日	5月26日		
2019年10月1日に消費税10%に	62 → 63		82 → 84	
旧料金切手最後の発行日	****	7月30日	****	7月30日
新料金切手初発行日	8月20日	8月20日	8月20日	8月20日



発行開始5年で消えたグリーティング差額用切手

6、7、16円普通切手の発行を検討すべきであろう。

消費税増税の準備

8月以降発行された全ての切手が消費税増税額を含む料額で発行された。2ヶ月前から特殊切手14件171種、3200万枚が新料額で発行されたのである。ふと、過去の増税の時はどうだったか気になって、整理したのが表3である。今回の2ヶ月前からの準備の完璧さ？が際立っている。消費税3%時は1週間前に新料額の普通切手が発行され、増税その日になんと新料額の初めての記念切手が発行されている。この切手を含め2種の切手は新料額でも18日後に限定局販売とはいえ発行された。



3/16 発行 2700万枚 4/18 発行 300万枚 3/24 発行 2500万枚 4/18 発行 500万枚

他の変更時期を見ても、今回ほどの完璧？の準備はなく、何の目的のためであろうかと考えてしまうし、利用者の立場を考えられているのであろうか。旧料額切手の売れ残りを極力なくすためではなかったのか。新料額切手の準備という点からは、過去に問題が生じ

たのは消費税3%導入時生じた程度だと記憶している。どれだけの人が誤って新料額切手を購入してしまったであろうか。それ以前に増税前に増税を負担させる切手を171種も発行すること自体をどう受け止めてこの準備をしたのであろうか。

（編集子）



切手 偏見

長寿切手の年輪を読む (3) 国際文通週間切手

広重の浮世絵東海道五十三次・三条大橋の切手で始まった国際文通週間切手(以後、文通週間切手と略記)、今年の文通週間切手で東海道五十三次全五十五図がすべて切手になった。やっと、揃ったという感じである。その間、62年を要した。五十三次完走をとらえてこの間の文通週間切手を整理した。



国際文通の最初の切手
東海道五十三次三条大橋



国際文通週間の記載なく、文通切手と連刷された4年で12種のグリーティング切手のうちの1種

文通週間切手と誤解されているのが、1996～99年4年間の12種のグリーティング切手と、4ヶ国とJoint発行された36種の国際文通グリーティング切手である。

文通週間切手はUPU(万国郵便連合)の決定を受けるので国内郵便料金のように国内事情での変更でなく、海外事情を考慮したUPUの決定による海外郵便料金料額であるめに変更が多く生じている。更に、1989年から消

62年間で発行された切手は総数132種類で発行状態は表1の通りであった。1種発行が29年、次に2種発行が8年、3種発行が間を挟んで18年、4種発行が4年、5種発行が1年、6種発行が4年であり、徐々に発行種が増している。また、2006年は国連加盟50周年記念を兼ねたためか2種の発行であった。



官製はがきの外国郵便利用に発行された差額用切手
2017年発行 広重 日の出に鷹
2018年発行 広重 鴛鴦



1987年発行の唯一
150円という料額の
特殊切手の文通切手

費税後の官製はがきの海外ポストカード利用には端数料額切手が必要となったため、2018年からポストカード用70円切手に加えて8円、7円という差額用切手が文通週間切手として発行されるようになり発行種類が増加している。海外郵便料金の変化を調べてみると国内郵便料金とは異なる推移を示し、万国郵便連合(UPU)が発展途上国支援のため、一部の国からの郵便料金を安く設定していることが文通週間切手の料額の変化に反映されている。海外郵便料金については米中経済摩擦問題が関連し、トランプ大統領がUPU脱退にまで言及したことで、その料金設定の方法に注目が集まっているように、料額変更の時期が注目される。この料金推移については後に検討する。

次に、切手に描かれたデザイン対象を整理すると、表2の様に浮世絵、絵巻、屏風、障壁画と日本の代表的な美術品が網羅されている。発行は年別に分野が整理されて発行されているが、62年間で2年のみ複数分野の対象がデザインされている。発行年、種類の多いのは当然ながら浮世絵が65%で、絵巻、屏風が各15%にデザインされ、日本文化を広く海外に紹介する日本美術の粋を集めているかと思われる対象である。このことは対象美術品の作者を見ても明らかに表3の様な著名作者名が並んでいる。

作品数の多い広重の東海道五十三次は22年間に毎年1～4作品が発行され、55作品となった。同じデザインと考えがちだが22

表 1. 国際文通週間切手発行内容の推移

年	種	デザイン対象作品	料額	該当郵便料金
1958 年	1	広重・東海道 53 次	24	船便書状
1959 年	1		30	
1960 年	1		30	
1961 年	1		30	(船便はがき)
1962 年	1	北斎・富嶽 36 景	40	船便書状
1963 年	1		40	
1964 年	1		40	
1965 年	1		40	
1966 年	1		50	
1967 年	1		50	
1968 年	1		50	
1969 年	1		50	
1970 年	1	広重 (3 代目)・駅通寮	50	船便書状
1971 年	1	伊藤芳郎・鉄道馬車図	50	
1972 年	1	広重 (3 代目)・永代橋真景	50	
1973 年	1	群鶏図	50	
1974 年	1	松に鷹	50	
1975 年	1	孔雀葵花図 屏風	50	
1976 年	1	紙本墨画淡彩鶯鴉図	100	
1977 年	1	花鳥図屏風	100	
1978 年	1	妙心寺 天球院障壁図	100	
1979 年	1	深山大沢図屏風	100	
1980 年	1	鶴図	100	
1981 年	1	梅に遊禽図	130	
1982 年	1	人形・遊楽	130	
1983 年	1	人形・地久	130	
1984 年	1	人形・滯	130	
1985 年	1	人形・清泉	130	
1986 年	1	人形・大森土産	130	航空書状第 2,3 地帯
1987 年	2	人形・堀柳女 宴の花	130 150	
1988 年	2	国政・豊国・役者絵	80 120	航空書状第 1,3 地帯
1989 年	2	源氏物語絵巻	80 120	
1990 年	2	絵巻 鳥獣人物戯画	80 120	
1991 年	2	絵巻 伴大納言	80 120	
1992 年	2	絵巻 平治物語	80 120	
1993 年	2	絵巻 三十六歌仙	80 120	航空書状 第 1,2,3 地域
1994 年	3	士女遊楽図屏風	90 110 130	
1995 年	3	松浦, 正月, 月次風俗屏風	90 110 130	
1996 年	3	北斎・富嶽 36 景	90 110 130	
1997 年	3	広重・東海道 53 次	90 110 130	
1998 年	3	若冲 雪中鴛鴦図, 綵集絵	90 110 130	
1999 年	3	北斎・富嶽 36 景	90 110 130	
2000 年	3	広重・東海道 53 次	90 110 130	
2001 年	3		90 110 130	
2002 年	3		90 110 130	
2003 年	3		90 110 130	
2004 年	3		90 110 130	
2005 年	3		90 110 130	
2006 年	2	国連加盟 50 記念デザイン	90 110	航空書状第 1,2, 地域
2007 年	3	広重・東海道 53 次	90 110 130	航空書状 第 1,2,3 地域
2008 年	3		90 110 130	
2009 年	3		90 110 130	
2010 年	3	現代絵画 美人画	90 110 130	
2011 年	3	現代絵画 美人画	90 110 130	
2012 年	3	現代絵画 美人画	90 110 130	航空はがき 航空書状 第 1,2,3 地域
2013 年	4	広重・東海道 53 次	70 90 110 130 8 差額切手 7 差額切手	
2014 年	4	広重・東海道 53 次、花鳥図		
2015 年	4			
2016 年	4			
2017 年	5			
2018 年	6			
2019 年	6			

表 2. デザイン対象美術品の状態

分野	回	種	内 容
浮世絵	35	86	広重・浮世絵
			北斎・浮世絵
			広重 (3 代目)・浮世絵
			伊藤芳郎・浮世絵
			歌川国政・浮世絵
絵巻	5	10	歌川豊国・浮世絵
			絵巻 三十六歌仙
			絵巻 四季花鳥図巻
			絵巻 鳥獣人物戯画
			絵巻 伴大納言
屏風	5	9	絵巻 平治物語
			絵巻 源氏物語絵巻
			屏風 月次風俗図屏風
			屏風 四季草花図屏風
			屏風 士女遊楽図屏風
人形	6	7	屏風 松浦屏風
美人画	3	9	屏風 正月風俗図屏風
襖絵	3	3	人形
			現代日本画 美人画
掛軸	2	2	群鶏図
			妙心寺 天球院障壁
絵	1	3	妙心寺天球院襖絵
			松に鷹
杉戸絵	1	1	紙本墨画淡彩鶯鴉図
記念デザ	1	2	綵集絵図



浮世絵



絵巻



屏風絵

掛け軸 杉戸絵 美人画
対象別デザインの代表例

表3. デザイン対象の作者と作品数

作 者	作品数
安藤広重	71
葛飾北斎	10
伊藤若冲	4
尾形光琳	1
上村松園	3
伊東深水	3
鍋木清方	3
広重(3代目)	2
狩野山楽	2
常盤光長	2
伊藤芳邨	1
円山応挙	1
歌川国政	1
渡辺始興	1
雪村	1
長谷川等伯	1
与謝蕪村	1
歌川豊国	1
作者不明	16
人形作家	7

年間によく見るとデザインに図1に示すような違いがみられる。発行が中断していた間に"NIPPON"表示が始まっていて、東海道53次が再開した1997年の亀山宿の切手からすべての文字表示"日本郵便"、"国際文通週間"、"INTERNATIONAL LETTER WRITING WEEK"、"西暦"が縮小されていることが大きく異なる点である。以後、文字フォントに種類、サイズに違いがみられる。2001年発行原宿の切手は原画に合わせて、唯一、枠外にデ

ザインを残して異なる感じをうける。このように細かくみると2014年発行江尻宿の上辺の文字様の汚れと思うものが表示され、原画の選択に興味を覚える。



図2. 2014年発行江尻宿の上部の汚れの存在

五十三次切手で気になるのが発行順である。よく見ると宿場の順と発行順とで行程を理解できるのは最初の三条大橋からの5年である。京から東へ桑名・蒲原・箱根・日本橋へ早飛脚の5年で五十三次の発行を終わらせる発行予定だったのではと、考えたくなる。広重の絵はハガキ用切手の花鳥図12枚の他に2枚ある。その1枚が紛らわしい。1997年に発行隸書版東海道五十三次・程ヶ谷宿が発行されており、うっかりすると間違っ

しまう。更に、この程ヶ谷は北斎・富嶽三十六景程ヶ谷として1964年に文通週間切手になっており、文通週間切手に程ヶ谷を描いたものが3枚存在する。(蛇足だが、この程ヶ谷、3代目広重が描いた絵で電信創業100年記念切手となり、北斎・程ヶ谷は2011国際切手展切手にもなり5種の切手に描かれた土地となっている。)

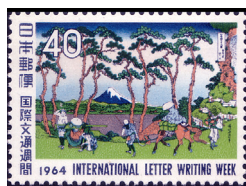
このように広重の東海道五十三次を中心とした浮世絵と代表的な美術品を対象にデザインされ、外国郵便料金の料額の切手が文通週間切手として62年間発行されてきたことは文通をする者、美しい切手が貼られた手紙を受け取る外国人にその発行目的を果たしてきたと考える。しかし、海外の人と文通を始めるきっかけを与え、文通の魅力を広く伝えるという啓発、宣伝という目的の意味からは検討されてしかるべきであつたろう。この意味から外国の文通週間切手のデザインを見ると意外と発行は少ない。1957年UPUが設けた国際文通週間、ドイツ、アルゼンチン、ソ連などがその年に記念切手を発行しているが、その後の発行は少なく毎年発行しているのはタイぐらいであろうか。それらの切手はお決まりの



図1. 国際文通週間切手のデザインの変化



隸書版 程ヶ谷 保永堂版 程ヶ谷
国際文通で2種発行された 広重 程ヶ谷の宿



北斎 程ヶ谷
富嶽三十六景



3代目広重保土ヶ谷
電信操業 100 年

ハト、手紙、地球をデザインしたものである。2008 年 EU 統一テーマ "Letter Writing(手紙、お便り、文通の広い意味か)" で 64 の国、地方で発行された 140 種余りの切手を見ても捉えきっていないようだ。来年、8 年ぶりに東海道五十三次から開放される文通週間切手、富嶽三十六景の残り二十景をデザインするのもかもしれぬが、ぜひ海外との文通をイメージする斬新なデザインの国内郵便料金切手の発行も期待したい。もっとも、もはやネット、MAIL、SNS の時代、魅力ある切手を貼った手紙での文通の時代ではないかもしれない。

最後に、文通週間切手の料額について検討したい。過去の料金の推移はからみると図

2、3 の通りであり、国内料金と異なり変動が大きく、しかも減額が複数回も見られ、国内事情だけでは決められない料金決定であったことが示されている。このグラフの数値に文通週間切手の料額を照合すると、表 1 の様に 1 種発行の 29 年間のうち 18 年は現在では意識しない船便書状の料額であった。文通が船便を主に利用されていたの



1957 年発行 国際文通週間設定記念切手
ソ連 アルゼンチン ドイツ



インドネシア



チリ



パプアニューギニア



トルコ



台湾



タイ

であろう。その中の 1961 年発行箱根宿の 30 円は 10 月 4 日発行であるが、その 3 日前の 10 月 1 日に料金が 40 円になり、単貼では船便書状に貼れず、ハガキにしか利用できなかったという年もあった。1976 年以降は航空便の料金に対応した料額になり、2013 年から 70 円切手加わり、すべての基本重量郵便物に利用できる切手の発行になった。しかし、8、7 円切手は面白いことを考えさせる。隣町宛ハガキ 63 円とブラジル宛ハガキが 70 円、隣町宛書状 84 円とインド宛書状が 90 円と、このままだと国内料金と差がなくなることふと考えさせられる。逆に、日本へのハガキ料金はインドネシア 54 円、マレーシア 43 円、ベト

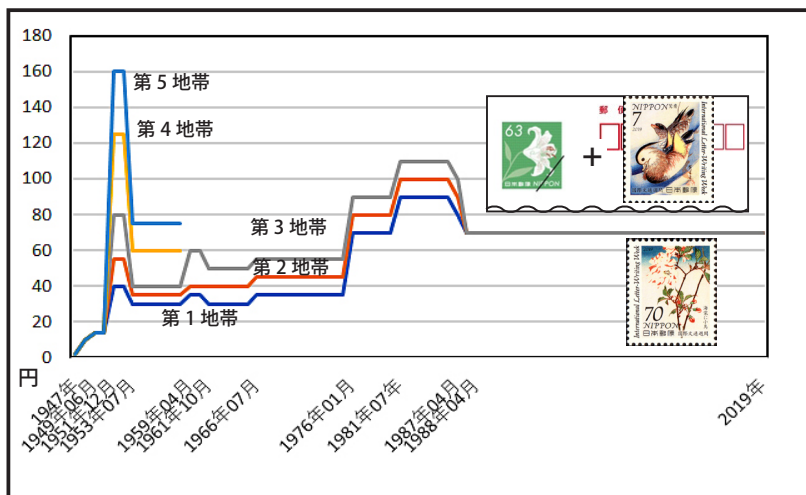
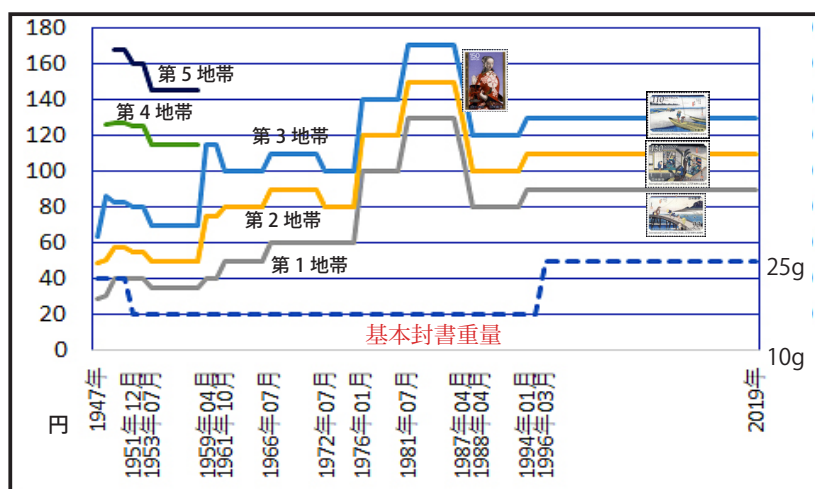


図 2 海外郵便 葉書料金の推移



自然をデザインした国立公園、観光切手が利用可能切手として発行され、現在より使用切手の選択環境が豊かであったと考える。航空便になって航空切手が4シリーズ（キジ、五重塔、立山、大仏）が発行されて切手の選択に悩む期間は少なかったと考えるが、文通週間切手が航空便料金料額になった1976年以

図3. 海外郵便 封書料金の推移

は33円となっている。大量のハガキ、年賀状などであれば、国内宛をアジア諸国から投函すればかなりの経費節減になる。はがきでなく、このような問題が額のかさむ小包にも波及していることなど、米国のUPU脱退などの抱える問題が見えてくる。

次に、文通週間以外に海外郵便に利用できた切手を整理してみると表4の通りで、文通週間切手に替えて封書に利用できる特殊切手の発行は非常に少ない。船便(平面路)時代は



表4. 普通に購入、使用していた海外用切手の存在

表4. 文通週間切手に変えて使用できた特殊切手の発行数

対象	文通週間切手料額	期間	種	左記期間発行特殊切手画像一部
船便葉書 参考記載	(14円)	1950/9/1 1959/4/1	5	
船便書状	(16円)	1948/9/1 1949/6/1	2	
船便書状	24円	1949/6/1 1959/4/1	20	
船便書状	30円	1959/4/1 1961/10/1	1	
船便書状	40円	1961/10/1 1966/7/1	3	
船便書状	50円	1966/7/1 1976/1/25	27	
航空書状	100	1976/1/25 1981/7/1	9	
航空書状	130	1981/7/1 1987/4/1	無し	
航空書状	130	1994/1/24 現在	無し	
航空書状	110	1987/4/1 現在	7	
航空書状	80	1988/4/1 1994/1/24	無し	
航空書状	90	1994/1/24 現在	25	

降は文通週間切手以外に各料額の特殊切手を探すとその数の少ないことに驚く。特に、内陸郵便料額でもある90円切手以外は少なく、110円切手は2001年以降は発行されず、130円切手は文通週間関連切手以外全く発行されていない。シール切手のバカげた発行を考える時、その数%でも発行されれば投函時の楽しさも増すかと考える。Mailの時代、文通は減少するとはいえ、東海道完走を機に年に3回程度、海外郵便用の美しい特殊切手の発行を期待するのは無理だろうか。編集子

*本記事は日専2008年版を参考にしました。非常に複雑な内容で理解に苦慮し、誤りを危惧します。1951～53年航空書簡と葉書の料金が全地域同一など出版元に確認を要しました。

2008 年 EU 統一テーマ "Letter Writing" の切手

Letter Writing の意味が手紙、おたより等、文通とは決めかねるが、それぞれの国でのデザインのバラエティーが楽しめる。文通を連想できるのはあまり無いか。

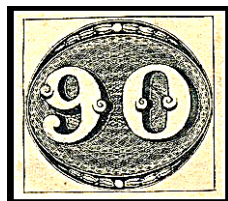
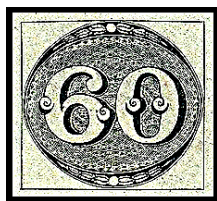


渡辺 勝正君の思い出

杉山 光雄

昭和 31 年の初夏、例によって昼時は当時文学部向いにあった文連の学生会館 3 階 19 号室でスコットカタログ等をみていた。と、一人の学生が入ってきた。浅黒い顔だったが眼元の涼やかな学生「ワタナベと云います」わずかに中国地方の訛のある口調で自己紹介した。彼との最初の出会いだった。話によると上の階にあったデザイン研究会にも所属しているとの事だった。その後、何回も会っていたがある時、私が「俺もスケッチ位はするんだぞ」と云うと「杉山さん今度一緒にクロッキーをやりに行きませんか」と誘われた。当時、目白駅近くの画材屋の 2 階にアトリエらしきものがあり、そこで初めて女性のヌードクロッキーを画いた。その後何度か一緒にしたが、彼の絵は何となくデザイン風の線描きだったのを憶えている。

卒業後はそれぞれの道を歩くことに忙しく、なかなか一緒にいることが少なかったが、この間、彼はニックネーム "OX" の源となった牛切手（通称牛の目というブラジル初期の切手）の蒐集と研究で全日本切手展に入賞し、アムステルダム国際切手展に出品するなど大活躍をし、また、実業面でも切手をモチーフにしたカレンダーの作成で大好評を博し、出版界に進出し、また、晩年にはリトアニア日本領事で多くのユダヤ人の救出に力を尽くした杉原千畝を広く世に紹介する等大きな功績を挙げたのだ。



1843 年ブラジル発行
牛の目といわれた切手のうちの 2 種



編集長として発行に尽力した
早大切手研創立 50 年記念誌

切手研創立 50 周年には記念事業である「早大切手研 50 年」の編集長と云う重責を引き受けてもらい、その発刊に真剣に取り組んでもらった事は特に忘れがたい事だった。毎月 1 回は手弁当で代々木上原に近い喫茶店に編集委員を集め熱心な会合を開いた。私も数回陣中見舞として参加したが喧々諤々熱気溢れる会合だった。また、当然の事ながら記念誌を発刊するには相当の資金が必要とされ会員諸氏に協力金をお願いする事となったが、どうも資金不足になりそうな気配が感じられた。そんな時、彼は「杉山さん 実行委員長だったら不足分は自分で出すような覚悟が必要」とハッパをかけられた。彼も記念誌作成にはそれ丈の気概をもって取り組んでいたに違いないと思った。平成 11 年秋、会員諸氏の協力で立派な記念誌は完成した。

彼はわが切手研の皆に数々の思い出を残し、80 年の人生を思う存分駆け抜けていった。

渡辺勝正君 安らかに眠ってください。

渡辺勝正会員の追悼の意味も込めて 10 月に「早大切手研 50 年」を国会図書館に納めました。

第48回 稲門フィラテリー常設切手展 「芸術の秋、切手で絵画を鑑賞」

「切手には多くの芸術品が描かれています。この秋は切手を絵画として鑑賞してみてください。切手で自分だけの美術館を作ってみるのも楽しいものです。」と、ポスターにしたように、絵画から切手に興味をもっただけたらと思い、当初はフランスの大型絵画切手での展示を考えました。しかし、幹事会で日本切手も入れよ、と指示され、それではと、ドイツ、オーストリー切手も入れての展示としました。

日本切手から絵画で探して、驚いたことがあります。屏風、浮世絵等も含め約600種拾いだせましたが、近代、現代絵画を絵画として紹介する切手は僅か40種に過ぎないことです。他には切手趣味週間、芸術院創設など他目的発行切手に使用された50種程度、外国絵画がイタリア国交150年、世界遺産西洋美術館などで9種が絵画として見つけられた程度でした。つくづく、浮世絵と過去的美術品がわが国の切手の評価を高めていることを痛感しました。逆に、日本切手のデザインが過去の芸術作品に頼りきってはいないか、とも考えさせられました。



9月7日幹事会

① 20周年記念切手展について

物故者に出品依頼の意見については依頼しない。

② 切手展の構成は、次の通りとする。

- ・ 稲門フィラテリーの紹介
- ・ 常設展、切手教室などの活動紹介
- ・ 作品展示
- ・ 今後の方向：ITを利用した郵趣

この今後の方向の中で、小中学生の作品などを考慮する。

10月5日幹事会

① 総会出席申込み状況

② 切手展出品申込み状況

西村寿一郎会員：香港、満州、ボスニアヘルツェゴビナ 小林 彰会員：横浜外国人居留地発着郵便物（仮題） 鎌倉達敏会員：東京深川の郵便印 1871 - 1888 小川義博会員：これからの切手収集の一形態（仮題）

③ 卒業生以外の会報購読希望者を受入れる。購読会員会費 2000 円とする。総会で提案・承認事項

④ ホームページ：総会で出席者の意見を聴取した上、全会員にその結果を会報を通じて通知することも検討する。

⑤ 会報合本の国会図書館納本の件

9月末に 41～50号、51～60号、61～70号計3冊納本（写真参照）。製本代等計1650円を平成30年度会計から支出。同時に切手研50年記念誌も渡辺勝正会員（編集責任者）への追悼をこめて納本。

⑥ 総会提出資料検討

編集後記

毎年、12月の会報を編集するのが嫌になる。500種類も発行された切手をふりかえってみて、これでは海外の切手収集友人から同情されるのも当然と思わざるを得ないからだ。友人から求められるのは年に20種に満たない。年間100種も発行しない国の切手と比較してその内容とデザインが違う事を痛感させられる。



10号づつ3冊に製本し納めました。

11月2日幹事会

① 20回総会議事録の検討

② 国会図書館の受領文書報告

国会図書館検索・申込オンライン

<https://ndlonline.ndl.go.jp>

での検索図書となる旨記載あり。

③ 会報への掲載ホームページの説明文の検討

④ 懇親会の会計報告

★切手教室 新宿北郵便局

第154回 9月7日

韓国の郵趣事情 神子 和也

第155回 10月5日

占領軍による郵便検閲 宮鍋 益治

第156回 11月2日

日本の郵便日付印 宮鍋 益治

稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第48回 9月7日～12月初旬

芸術の秋、切手で絵画を鑑賞

第49回 12月1日から3月初め

昭和～平成 子年の年賀郵便切手

発行日：2019年12月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：青柳 次男

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4階

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤 克就 小川 義博

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します